

受付番号	2024-16		
許可番号	大歯医倫 第 111341 号		
研究課題名	フッ化物とホワイトニング材の併用による弊害の有無		
研究責任者	神 光一郎	申請者	樋口 敦子
研究終了日	2029 年 3 月 31 日		
所 属	医療保健学部・口腔保健学科	所 属	医療保健学研究科(口腔科学専攻)
職 名	学科長・教授	職 名	博士課程 2 年生

申請の概要

これまでの知見では、フッ化物をホワイトニング材と併用することで、ホワイトニング材の効果を減弱させてしまうことが示され、両者の併用については禁忌とされてきた。しかし、2005 年の日本歯科保存学会にて、950ppm フッ化物配合歯磨剤との併用ではホワイトニング効果を阻害することはなかったとの報告がなされた。

一方、2017 年より日本国内のフッ化物濃度基準が変更となり、現在では 1450ppm フッ化物配合歯磨剤の普及が進んでいるが、フッ化物濃度変更後の歯磨剤によるホワイトニング効果への影響を示す論文は未だない。

本研究により、ホワイトニング材と併用可能なフッ化物濃度について明確な基準の設定ができれば、セルフケアとして重要な役割を担っている歯磨剤と、近年国内で意識ならびに需要が高まってきているホワイトニングとの併用が適切な濃度で可能となり、今後のオーラルヘルスケアを推進するための基礎資料となり得ることが期待される。